



個室ユニット型施設 推進協ニュース

2022年
(令和4年) 4月号
NO. 176

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会
〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1
TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472
MAIL: info@suishinkyo.net

- 議連総会へ要望書提出 <1面>
- 第9弾月例勉強会 <2面>
- 介護ニュース・ダイジェスト <4面>
- 厚労省が予定している実証事業とは <1面>
- 第4回実地研修施設勉強会 <2面>
- スバリ回答！人事・労務のお悩み <4面>
- 第6回理事会 <2面>
- 施設紹介(明尽苑、グランパランいまり) <3面>
- 賛助会員、入会施設の紹介 <4面>



個室ユニットケア推進議連総会



森会長(左)と中村事務局長(右)

個室ユニットケア推進議員連盟へ 緊急要望書提出

一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会(推進協)の赤枝真紀子会長は3月25日、東京・永田町で開かれた個室ユニットケア推進議員連盟総会(会長・森英介衆院議員)に出席、11項目の緊急要望書を提出し、政策の見直しを求めた。なお、当日の総会において、新たな会長に森英介氏が選出された。

赤枝会長が主要項目を要望

冒頭、今回、会長に就任した森氏が「会長に就任し、皆様のお力をお借りして、しっかりと務めさせていただきます」と挨拶した。

中村裕之事務局長(衆議院議員)から指名を受け団体代表として赤枝会長が挨拶に立った。赤枝会長は挨拶の中で「私からは3点について特別に願います」として入居要件の緩和、4対1配置などに関

して、重点的に要望した。

1点目の特養の入居要件の緩和については「これはどうしてもお願いしたい。待機者は消えてしまっている。多くの経営者が特養の先行きに危機感を抱いている。令和2年から厚労省はサ高住の補助金を手厚くした。政策的な差異はなくなっている。せめてイコールフットリングにしたい。できないと対等の競争はできない」と現状の危機感を訴えた。

2点目の介護施設における生産性向上については、特養でも職員を4対1にするかのような報道がされている件で「ユニット型施設は特定施設と異なり、①暮らしの継続とアセスメントの実施②入居者相互の社会環境の構築③自己選択・自己決定の3つが特別に求められており、4対1は特養では困難」と明確に否定した。一方、生産性向上に関しては、質の向上を前提として前向きに取り組む姿勢を示し「ユニット一体運用を検討していきたいと考えている。厚労省が予定している実証事業に加えていただけないか」と厚労省の令和4年度新規事業への参画希望を表明した。(下図参照)

したい」と述べた。続いて、佐々木亀一郎政治連盟代表が「要望については政治連盟も同じ考えだ。政治連盟としてしっかりと丁寧に取り組んでいきたい」と挨拶。7月の参議院選挙への応援についても表明した。

厚労省担当課長が 要望書への回答を説明

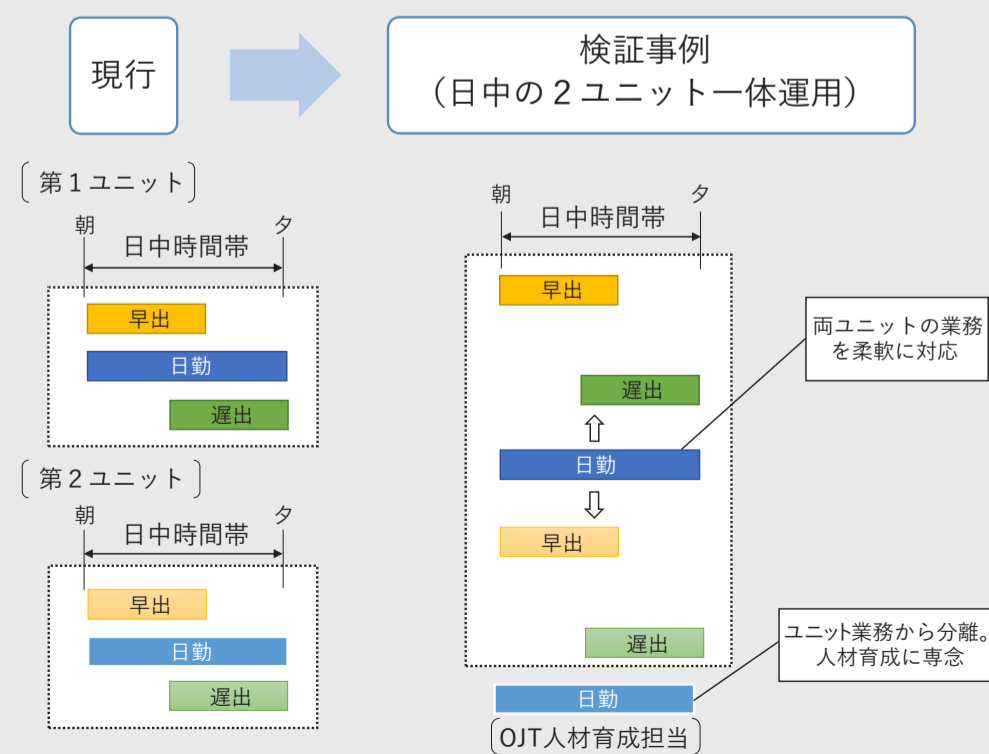
赤枝会長からの要望を受けて厚労省老健局の須藤明彦高齢者支援課長は以下のとおり回答した。入所要件の見直しについて「特例入所により要介護度1、2の者の入所を進めているところもある。地域によっては特養に空きがある」とは承知しているが、一方で、令和元年度調査では11万6千人の待機者があった。令和4年度の再調査結果を踏まえ、報酬改定の議論の中で丁寧を検討したい」と回答した。これに対し、推進協の稲庭千弥子副会長は、特例入所の取り扱いに格差がある。運用をもっと柔軟にしてほしいと強く訴えた。

4対1配置について須藤課長は「厚労省としてご指摘のようなことが決定した事実はないことは明確に申し上げる。また、生産性向上は重要であり、質の向上や職員の負担軽減に繋がるのかの視点で実証していきたい。ユニット型施設も事業の対象になる」と答えた。

厚労省との意見交換会開催へ

ユニットリーダー研修については、ケアの質確保のために重要との認識を示しつつ、「全ユニットリーダーが研修を受講している施設が2割に留まっている一方、4割の施設が若干名となっている」とする厚労省の調査結果を説明。「したがって直ちに経過措置の廃止は難しいが、段階的な縮小については実態を踏まえつつ検討していきたい」とし、令和4年度に厚労省主催で研修団体を対象とした意見交換会を設ける考えを示した。

推進協がエントリーを考えている試行事業イメージ図



厚労省が予定している実証事業とは

テクノロジーや介護助手活用等のテーマ毎に生産性向上の効果を実証し、得られたデータを活用して次期介護報酬改定に活用しようとするもの。この中には、「介護事業者等からの提案手法」というテーマも盛り込まれている。

【推進協が提案する試行事業】
介護事業者等からの提案手法を活用し、2ユニット一体運用(ユニット固定配置を柔軟に解釈し、ユニットを跨いだ介護を可能とすることでマンプワーに余裕を生み出すもの)により生まれた余裕人員をOJT専属担当者として活用する事業。但し、ケアの質低下がないことが前提。

1人が提供する労働生産性より、その1人が教育担当に回ることで施設全体でより大きな労働生産性を生み出すことが狙い。現状では、OJTで十分な人材育成、教育をすることが人員や時間の面で十分でないといった課題がある。「個々の職員の持つスキルII介護の質」からの脱却を図り、教育機能を包含する未来型介護施設の可能性を検証する。

新年度事業計画などを承認 厚労省実証事業への参画も

推進協
第6回理事会

3月24日に推進協の第6回理事会がAP東京八重洲で対面およびライブ配信を併用したハイブリッド方式で開催された。第1号議案「2022年度事業計画」や第2号議案「2022年度予算」、第3号議案「入会承認」の全議案を了承した。理事会終了後、理事懇談会を開催し、懸上忠寿事務長が厚労省実証事業へのエントリーについて説明した。



第6回理事会 (AP東京八重洲会場)

いては、来年度厚労省が計画している実証事業への参画について意見交換した。

推進協がエントリーを考えている試行事業のイメージ(1面参照)は、現在、ユニット型施設において夜間行われている2ユニット一体運用を、日中においても人材育成を目的に実施することで、人材の削減よりも生産性向上とサービスの質向上を同時に達成することを目的としたもの。赤枝会長は、「10人ユニットにおいても生産性向上ができることを示したい。そして、より質の向上を図っていきたい」と話す。

厚労省実証事業の概要には、実証事業は、「生産性向上の取組に意欲的な介護事業者等から、取組の目標や具体的な取組内容等に関する提案を受け付け、提案を踏まえた実証を実施」とあるため、これに応募する。2ユニット一体運用により人員配置の柔軟性が向上し、人材育成担当者の配置による業務の効率化と人材育成が共に実現できるのではないかと、基本的な仮説となっている。

故赤枝雄一氏のお別れ会

その他のお知らせとして、故赤枝雄一氏のお別れの会開催について報告があった。6月10日(金)午前10時半から東京都港区六本木5-11-16の国際文化会館で開催される。

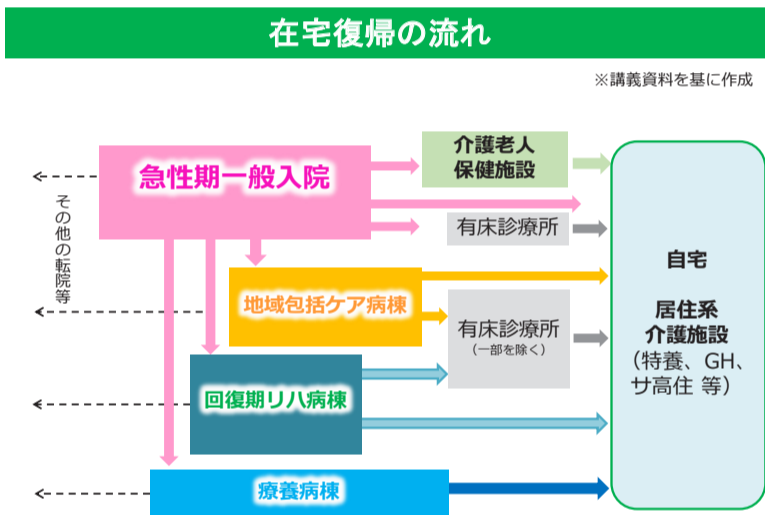
実証事業には日中2ユニット 一体運用を提案

続けて開催した理事懇談会にお

第9弾月例勉強会

医療でも進む地域包括ケア「カギ」は介護連携とICT、DX

3月14日、推進協は「診療報酬改定から読み解く次期介護報酬改定」をテーマに第9弾月例勉強会を開催し、約40施設が参加した。関東信越厚生局東京事務所の小田晴美審



小野課長

査課長を講師に招き、東京・築地のスタジオからライブ配信した。小田課長は令和4年度診療報酬改定では、地域包括ケアシステム整備推進の下、入院支援加算の見直しによる医療介護連携の強化やデータ提出加算の新設などが盛り込まれたことを説明した。介護分野では今年からLIFEが導入されたが、今後ますます医療機関との連携やICT、DX導入が求められるようになる」と述べた。

第4回実地研修施設勉強会

実地研修は6月再開を目標に 厚労省・実証事業協力呼びかけ

3月29日、推進協は第4回実地研修施設勉強会をオンライン開催し、31施設から約50名が参加した。実地研修再開に関する説明や厚労省の実証事業協力への呼び掛けなどが行われた。

●新規・実地研修施設の紹介
懸上忠寿事務長が新規に実地研修施設となった3施設を紹介し、各施設の参加者が抱負を述べた。

【地域密着型特別養護老人ホーム 明尽苑 (千葉県・西慶二郎施設長)】 広域特養の明尽苑は既に実地研修施設となっているが、多くの実習生を受け入れたいと考え、地域密着の明尽苑も実地研修施設

に仲間入りした。ユニットリーダーを全国に広げていきたい。

【介護老人保健施設仙寿なごみ野 (岐阜県・西部寛施設長)】 推進協では初の老健の実地研修施設。既に実地研修施設となっている関連施設の「岐南仙寿うれし野」とも切磋琢磨しながら成長していきたい。

【特別養護老人ホームグランパラ ンいまり (佐賀県・太田耕子施設長)】 佐賀県では「玄海園」「シルバークエア吉野ケ里」に続いて、3番目の実地研修施設として加わった。ユニットケアを牽引する立場となるよう努力していきたい。

●実地研修再開に向けて
懸上事務長は実地研修再開に向けて実施した自治体のアンケート結果を示し、概ね、再開についての同意を得られていると説明した。再開に当たっては、実地研修施設が再開届出書を提出、受入可能期間や受入人数などを調整したうえで、6月頃から開始することが決まった。

●厚労省の実証事業への協力依頼
懸上事務長は令和4年度実証事業に提案する「2ユニット一体運用」の実証施設として実地研修施設に協力してもらいたいと呼び掛けた。それを受けて実地研修施設からは以下のような意見が出た。

- ・外国人職員には特にきめ細かい指導が必要。提案内容の勤務体制を取ることができれば、研修制度の充実が期待できる。
- ・既に相談員やケアマネがユニットに入って指導するような形でやっているが、ユニット職員の補助的な作業をしがちだ。教育できる人の育成が大事だと感じている。
- ・夜間と違って入居者が活動している居間は、居室以外の場所でも過す人も多い。死角や見守れないところでのリスクは見守りスキルだけでなく対応しきれない。どこにでも手軽に持ち運べる見守り機器があれば、可能ではないか。
- ・ケアマネや相談員がしっかりマネジメントすれば生産性はあがる。中間層を育てることが大事。

令和4年度診療報酬改定のポイントを以下のとおり。

【入退院支援加算】 退院後も住み慣れた地域で生活できるよう、介護保険サービス事業者との定期的な面談義務が強化。医療機関はますます地域での医療介護資源との連携が重要となった。

【地域包括ケア病棟】 自宅・居住系介護施設への退院を促す在宅復帰率が引き上げられ、今後一層促進される。医療介護の連携が必要となる。

【データ提出を要件とする入院料見直しと評価の新設】 どういう医療行為を行ったときに効果があつたか、データに基づいた点数設定をするために、データ提出を要件とした。「出来高払い」では過剰な診療、「包括払い」では粗診粗療が問題となっているが、適切な医療を提供できるようにするため、見直しと新設を行った。

小田課長は「医療業界では今後ますますデータ提出を求められることが増えていくことになる。電子カルテシステムが導入されているところはDXへの対応が容易。また、医療はずっと提供するものではない。社会的入院が多いと医療を必要とする人が受けられない事態になる。退院後、または介護老人保健施設からの退所後、速やかに自宅や居住系介護施設へ戻れるよう、病院や事業所間との連携は重要だ」と語った。

それを受けて、懸上忠寿事務長は「介護業界でも適切なケアと効果をデータから測るといった観点からLIFEが始まったが、医療を見ると2年後の同時改定に向けてICTやDX導入を進め、備えていかなければならない。また、退院後、在宅復帰が困難な方の受け皿として選ばれるよう、医療や地域の担当者との連携が欠かせない」と感想を述べた。

千葉県

社会福祉法人 聖心会



特別養護老人ホーム明尽苑

地域密着型特別養護老人ホーム明尽苑

～「あなたらしい生活」をサポート～



一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会



○暮らしの場を意識して
広域型特養「明尽苑」で
の経験を基にPEAPや暮
らしの場
であるこ
とを意識
しながら
職員がリ
ビングの
設計に携
わった。



【地域密着・明尽苑の設え】
○光と風のテラス
ユニットの間にテラスを
設けたことで、リビングに
は明るい光と心地よい季節
の風が入
ってくる。
テラ
スで花を
育てたり
日光浴を
したりす
る入居者
の姿も見
られる。



【施設の紹介】
2005年、「明尽苑」
は松戸市に開設した。開設
当初から入居者がその人ら
しく生活できる施設を目指
し、2013年に推進協の
ユニットリーダー実地研修
施設になった。2016年
には「明尽苑」の新館ユニ
ットとして地域密着型特養
の「明尽苑」を開設した。

【具体的な目標を設定】
ユニット別に施設理念を
具体的にした目標を掲げ、

○明尽苑まつりを開催
新型コロナウイルス感染
拡大防止のため参加者の制
限はしたが、秋に毎年恒例
のまつりを開催した。餅つ
きをしてもらったり、職員
によるソーラン節や和太鼓
演奏を鑑賞してもらったり
と楽しんでもらえるよう取
り組んだ。



○手作り神社で初詣
地域交流スペースに明尽
苑神社を設営。かなり本格
的な凝った作りだが、職員
の手作りなんだそう。おみ
くじや絵馬も用意されてい
る。施設に
いながらに
してお正月
気分を味わ
うことがで
きる。

【コロナ禍でも「ハレの日」
】
○手作り神社で初詣
地域交流スペースに明尽
苑神社を設営。かなり本格
的な凝った作りだが、職員
の手作りなんだそう。おみ
くじや絵馬も用意されてい
る。施設に
いながらに
してお正月
気分を味わ
うことがで
きる。

○研修室を整備
職員会議、研修、クラブ
レクリエーションだけで
なく、家族会・地域住民会
議にも研修室を活用してい
る。職員研修
は全職員が参
加できるよう
月に4回、同
じ内容の研修
を開催してい
る。

【取材後記】
開設当初からの理念は
揺るがず、真剣に確実に
歩を進めてきたことが、
施設や職員の熟成とな
り、さらなる一步を地域
密着の明尽苑という形で
実現していると感じまし
た。(山)



【西慶 一郎施設長から】
今年度から地域密着型の
明尽苑も推進協のユニッ
トリーダー研修実地研修施設
になりました。たくさん
の実習生を受け入れること
で、同じレベルや介護感
を持つ仲間を増やし、多くの
施設がレベルアップするこ
とに尽力いたします。

【買い物支援サービス】
週2回
地域貢献
の一環で
近隣住民
の方をス
ーパー等
へ送迎す
る買い物
支援を行
っている。
それに
合わせて
入居者
の方の外
出支援サ
ービスも
行ってい
る。コー
ナが収束
したら月
1回、買
い物後に
食事にも
一緒に行
く予定だ。

取り組んでいる。例えば、
あるユニットでは「『あり
がとう』と1日5回以上言
うように心がける」、「慌
たしい雰囲気を出さないよ
う心掛け、焦った時こそ深
呼吸を行う」など。

〒270-2251 千葉県松戸市金ヶ作296-1 TEL 047-385-2220 FAX 047-385-7377 URL: http://seishin-kai.or.jp

【特養】定員70人(7ユニット)【地域密着特養】定員29人(3ユニット)【ショート】定員21人(2ユニット)

佐賀県

社会福祉法人 花心会

特別養護老人ホームグランパランいまり

～ 老後を楽しくのんびりと～



一般社団法人 全国個室ユニット型施設推進協議会

【施設紹介】
2005年、「グランパ
ランいまり」は、伊万里市
初のユニット型施設として
開設した。コンセプトはリ
ゾート地の様な癒しの空
間、ヨーロッパのホテルの
ような外観が特徴だ。施設
名の「グランパラン」はフ
ランス語で「祖父母」の意
味。各ユニットには「セー
ヌ」「ライン」などフラン
スの川の名前をつけてい
る。自分の祖父母がゆった
りと流れる川のように、の
んびりとした暮らしを楽し
んでほしいという思いから
名付けられた。

【ICT・介護機器】
眠りスキャンを各ユニッ
トに4～5台導入し、見守
りが必要な方に使っている。
入居者のご家族からも安
心できると好評。覚醒や起
き上がり時にアラームで知
らせてくれるので、夜間に
部屋に入って見回る必要が
なく、入居者の尊厳の保持
と安眠につながる。
夜勤の職員にとっても安
心できるだけでなく、気分
に余裕が生まれるそう
だ。

【人材開発室を設置】
施設が求める職員を育成
しようと昨年10月に人材開
発室を設置した。指導に当
たる専任の職員を配置し、
人材育成を計画的に進めて
いる。職員の定着率を上げ
安定した人材確保を目指
す。まずは、ケアの標準化
を図るため、ケアマニュアル
の作成から手掛けた。抱
えない介護を目指し、介護
機器の導入も進めている。



【取材後記】
課題を一つずつ解決しな
がら、向上していきたいと
いう熱意が実地研修施設へ
の扉を開いたと感じまし
た。(山)

また、開設当初から介護
ソフト「Quickケア」
また、開設当初から介護
ソフト「Quickケア」

約1年前に受け入れた16
名の特定技能1号の外国
人。指導者の言っているこ
とがうまく伝わっていない
と、外国人が伝えたい
ことをどのように表現す
ればよいかわからなかった
など、相互のコミュニケーション
がうまく取れていない
ケースが多かった。現在
は、外国人向けの日本語や
介護技術の教育を人材開発
室が中心となって実施して
いる。

【太田耕子施設長から】
今年度から推進協のユニ
ットリーダー研修実地研修
施設になりました。ご利用
者の方々が気持ちよくご自
分らしく生活していただ
けるよう、実習施設として
励むよう、スタッフ一同、
頑張っております。



【取材後記】
課題を一つずつ解決しな
がら、向上していきたいと
いう熱意が実地研修施設へ
の扉を開いたと感じまし
た。(山)

【取材後記】
課題を一つずつ解決しな
がら、向上していきたいと
いう熱意が実地研修施設へ
の扉を開いたと感じまし
た。(山)



【取材後記】
課題を一つずつ解決しな
がら、向上していきたいと
いう熱意が実地研修施設へ
の扉を開いたと感じまし
た。(山)



【サークル活動を開始】
昨年から特養の入居者対
象に月4回程度、ユニッ
トごとに「サークル活動」を
開催している。生け花や書
道など入居者は好きなもの
を選んで参加できる。サー
クル活動はイベントとは異
なり、入居者ができること
で継続性のあるものを取り
入れ、サークルごとに専属
の職員を割り当て開催して
いる。

〒848-0022佐賀県伊万里市大坪町乙1579-2 TEL 0955-23-5261 FAX 0955-23-5411 URL: https://kashinkai.or.jp/

【特養】定員50人(5ユニット)【ショート】定員20人(2ユニット)【デイ】25名

介護「ユース・ダイジェスト」2月26日〜3月25日

■新加算の名称は介護職員等ベールアップ等支援加算（2月28日）
介護給付費分科会は、「介護職員等ベールアップ等支援加算」の創設など、10月から施行となる介護報酬の臨時改定に関する告示の改正案を了承した。

■(株)推進協介護大学の指定申請を神奈川県へ提出（3月1日）
株式会社推進協は、介護福祉士試験受験の前提となる実務者研修事業（株）推進協での事業名は介護大学校の新規指定を受けるため、神奈川県に指定申請書を提出した。順調にいけば事業開始は12月の予定。

■第5回総合確保基金内示27億5900万円（3月4日）
厚労省は地域医療介護総合確保基金（介護分）の第5回内示を実施。今回は介護従事者確保分のみを対象自治体は5自治体、国費27億5900万円を配分した。

■介護人材不足や改善 福祉医療機構調査（3月7日）
福祉医療機構の調査によると、特養介護職員の不足感は55・1%と前回調査より9・0ポイント改善。採用活動で人材紹介会社支払った手数料は1施設あたり平均で年間393万9000円。「とても高い」と79・0%が回答。

■地域介護・福祉施設整備交付金を内示（3月9日）
厚労省は地域介護・福祉施設整備交付金の第2次内示を実施。171計画、14億8000万円余り。計画は都道府県・政令指定都市・中核市が策定。

■介護施設のクラスター、過去最多に（3月9日）
厚労省は全国の高齢者施設でこれまで発生した新型コロナウイルスのクラスターは累計で4623件と発表。

■全世代型社会保障構築会議開催（3月9日）
内閣官房は第2回の全世代型社会保障構築会議開催し、人への投資を主要な論点として提示。香取照幸上智大学教授は「地域包括ケアネットワーク」の実装により、「地域完結型」の医療介護サービス提供体制を構築することを提案。

■介護職員等ベールアップ等支援加算の取扱いを通知（3月11日）
厚労省は老健局長通知を改正し、新たな処遇改善加算となる介護職員等ベールアップ等支援加算は、特定処遇改善加算と一体で賃金改善見込み額を算定することと通知した。

■厚労省は高齢者施設等のワクチン3回目接種状況を公表（3月15日）
3月15日までの接種終了予定施設数割合は95%。特養、老健等施設種別での差はほとんどない。100%の徳島県がある一方で、80%台と報告したのは北海道、青森県、奈良県、沖縄県の4道県。

■濃厚接触の介護職、条件次第で待機なし勤務可能（3月16日）
厚労省は新型コロナウイルス感染症患者等が入所している高齢者施設等であって外部からの応援職員の確保が困難な施設に従事する介護従事者等の要件に該当し、注意事項も遵守することを条件に介護に従事することは不要不急の外出に当たらないとした。

■施設内療養追加支援策延長（3月17日）
厚労省は新型コロナウイルスの感染拡大に伴う介護施設・事業所に対する基金による施設内療養者1名につき15万円の支援策や施設内療養者数が一定数を超える場合の1万円/日の上乗せ支援策について、利用できる期間を4月末まで延長した。

■介護保険担当課長会議の動画を公開（3月18日）
厚生労働省老健局「今年度の全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議は、会議資料の公表及び説明動画の公開に代える」と公表。厚労省HP参照。

■推進協今年度のリーダー研修全日程を終了（3月18日）
年間27回を予定していたリーダー研修は、当初計画通りに全日程を終了。受講申込者は12000人を超えた。これは前年度の倍以上。

■2040年を視野に介護保険改正議論開始（3月24日）
厚労省の社会保障審議会・介護保険部会（部会長 菊池馨実・早稲田大学法学部教授）は2040年に向けて介護保険制度改正の議論を開始。全世代型社会保障構築会議や経済財政諮問会議等との議論のすり合わせが焦点。

■推進協第6回理事会を開催（3月24日）
推進協は理事会と理事懇談会を開催。来年度事業計画や予算等を了承。理事懇談会では厚労省の実証事業への応募を提案した。（既報の通り）

■介護職の月給は32万3190円（3月24日）
厚労省は「処遇状況等調査」を公表。特定処遇改善加算を取っている施設・事業所介護職員（常勤・月給制）の給与の平均は昨年9月時点で月32万3190円。（前年比7780円増）

■赤枝会長自民党のユニット議連総会で要望（3月25日）
赤枝会長は待機者急減を踏まえた特養入所要件の介護度1以上への見直し、生産性向上の観点からの厚労省実証事業への参画、ユニットリーダー研修の段階的充実を要望した。（既報の通り）

■介護福祉士合格者約6万人（3月25日）
厚労省は第34回介護福祉士国家試験の合格者を発表。8万3082人が受験し、6万99人が合格した。合格率は72・3%。合格者数及び合格率は昨年とほぼ同程度。

■ワクチン4回目接種の準備を（3月25日）
厚労省は4回目のワクチン接種の準備を進めるよう自治体に通知した。対象者や3回目からの間隔は未定。

ズバリ回答！人事労務のお悩み 育児介護休業法改正への対応は？

【今月の相談内容】

4月1日から改正となった育児介護休業法。実務上はどう対応すればよいですか？

【回答】

●法改正の背景にあるもの
今回の法改正には、「産後の不調からママを守る」「パパの育児の壁を低くする」といった背景があるといわれています。概要は以下のとおりです。

- ▽出生8週以内にパパが短期間、分割で取得できる育休制度の新設
- ▽夫婦で交代できる柔軟な育休の制度への改正▽所得補償のため、短期間の育休でも社会保険料が免除になる改正▽育休がとりやすい雇用環境整備を企業の義務化
- ▽育休取得の意向確認を企業の義務化

●施行は段階的に

▽令和4年4月1日 育児休業の制度の周知・意向確認、雇用環境整備の措置義務、有期雇用労働者の条件緩和▽令和4年10月1日 出生時育児休業制度の創設、育児休業の分割取得▽令和5年4月1日 取得率の公表義務

あわせて、雇用保険及び健康保険の改正が行われます。

●法改正の周知と意向確認を

全職員に対し、法改正の周知と就業規則等の変更にかかる説明等の手続きが必要です。
男女問わず、妊娠・出産の申出をした職員には個別に育児休業の制度を説明し、育児休業取得の意向について確認してください。

育児介護休業法は、つぎはぎだらけの複雑なものとなつています。社会保険労務士への相談等を事前に行いながら、フレームづくりをされることをお勧めします。
※会員専用ページから「意向確認書」のひな形がダウンロードできます。



推進協監事・特定社会保険労務士 栗田淳二

「徘徊」の使用は慎重に

厚労省老健局認知症施策・地域介護推進課は3月7日、全国介護保険・高齢者保健福祉担当課長会議資料を公開し、「徘徊」の使用について、今後は用途や文脈によって判断し、敢えて使用する必要がない場合には、例えば「行方不明」「歩き回って道がわからなくなる」などの表現を用いることを自治体に明示した。認知症の方からの強い要望があるという。目的があつて

外出したものの道がわからなくなつてしまふなど、本人なりの理由があつての行動であり、こうした行動について目的がないとされる「徘徊」という言葉を使用されることには抵抗があるとのこと。一方で、現時点ではこれに代わる同定義の用語を定めることは困難であり、またBPSDとしての症状を否定するものではないことから判断としている。



《賛助会員のご紹介》
当会の目的・趣旨にご賛同いただき、賛助会員としてご協力・ご支援をお願いしている企業をご紹介します。

入会年月	社名・法人名/住所
2018年7月	株式会社ジェシーアイ 埼玉県さいたま市桜区田島4-18-17中村分店ビル
2018年12月	株式会社ヤクルト本社 首都圏支店 東京都港区海岸1-10-30
2019年8月	株式会社SHINKO 東京都台東区浅草橋五丁目20番8号CSタワー内
2019年8月	パナソニックエイジフリー株式会社 大阪府門真市大字門真1048 B22棟3階
2019年9月	株式会社ライフサロン 東京都新宿区西新宿2-4-1新宿NSビル4階
2020年9月	加地コーポレーション株式会社 東京都世田谷区玉川3-33-8 BLOOM TAMAGAWA102
2021年9月	株式会社ケアコネクトジャパン 静岡県静岡市駿河区南町18番1号サウススポット静岡2F
2022年4月	株式会社フラワーコミュニティ放送 埼玉県鴻巣市東1-1-25フラワービル5階
2022年4月	株式会社金星 東京都千代田区四番町4-8野村ビル3F

【賛助会員数】11事業所(令和4年4月1日現在)※公開希望の会員のみ入会年月順に掲載

入会施設のご紹介

【大阪】(老健) 門真老健ひかり
(医) 柏友会

理事長 切東美子

施設長 竹田一夫

門真市北岸和田1-14-23

【会員施設数】384施設

(令和4年4月1日現在)

事務局から

今月から推進協ニュースは4面構成に戻り、施設紹介のコーナーも復活！施設紹介にご協力いただける施設を募集しています。訪問の他、オンラインや電話での取材も行っています。取材内容を基に記事を書きますので、負担はそれほどかかりません。掲載希望の方は事務局までご連絡を。(山)